



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

# The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2009 / 2010)

国際会長 「一つとなる力」  
 アジア会長 「一つとなる力」  
 西日本区理事 「すべてのいのちを大切に」  
 中部部長 「ワイズの理念を胸に自信をもって活動しよう」  
 名古屋会長 「広げよう新しい仲間」 みんなで目指そう出席率の向上!!

2009 ~ 2010 1 月 号 (No755)

## 1 月例会プログラム

と き：2010年1月12日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.  
 と ころ：名古屋 YMCA

司 会 加藤 明宏君  
 開会宣言 会 長 深谷 聡君  
 ワイズソング  
 聖書朗読・祈禱 飯田 和也君  
 食 事  
 プログラム 「茶の湯のこころ」  
 講 師 坂倉 洋氏  
 (名古屋グランパスクラブ)  
 諸 報 告  
 ハッピーバースデー  
 ドライバースピーチ 木本精之助君  
 讃 美 歌 411  
 閉会宣言 会 長 深谷 聡君

## 明けましておめでとうございます

深 谷 聡

出口の見えない混沌とした社会情勢のなかではありますが、2010年が始まりました。名古屋ワイズも、主イエス・キリストの愛と恵みの内に、チャーターより64年目を迎えました。これも一重に多くの先輩をはじめメンバーの皆様の努力と結束のお陰と、心より感謝申し上げます。

今年は、いよいよ第69回国際大会が、8月5日より8日迄「いのち、未来への継承—私たちの地球のために—」をテーマに横浜で開催されます。

YMCA精神からなる共通の信念を分かち合い、国境を越え、友情を確認し深めることができますように祈ります。

いつまでも、不平等で愛に満たされることのない人々をつくり出してしまふこの不安定な世の中があります。

「愛されることの反対は無関心である」とマザーテレサは言っています。

知ること、関心をもつこと、自分にできることはなにかを問いかけることから始まります。

私たち個々のワイズメンがもつクリスチャンティーを束ねて大きな力とし、世界平和のための働きになるようにと心から思います。

## 第 2 例 会

と き:2010年1月19日(火)7:00p.m. ~ 8:30p.m.  
 と ころ:名古屋 YMCA  
 プログラム:次期役員選出  
 2月第一例会プログラムについて その他

会 長 深谷 聡 書 記 渡辺真悟  
 副 会 長 水谷 治 長井 潤 五島八郎  
 プリテン 久保田 平野 伊左治 会 計 川口 恵 塩田 保

12月クラブ出席		B F		12月 個人出席										第 一 例 会 (12/5)							
在 籍	29名	12月	切手	200pt	青 木	木 本	○	谷 川	◎											メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 加藤(邦) 木本	
第 1 例 会	21名		現金	0pt	飯 田	○	久保田	○	寺 田	○											五島 寺田 長井 西村
メネット	9名		小計	200pt	伊左治	○	黒 川	◎	長 井	◎											ゲスト 三里 仁科 奥野 矢島
第 2 例 会	8名	累計 (7/12月)	切手	820pt	岩 田	○	五 島	◎	成 瀬	◎											メネット会
メネット	0名		現金	0pt	尾 関	○	小 谷	○	西 村	◎											愛実の会クリスマスクリスマス会 (12/12)
ゲスト・ピッサー	4名		小計	820pt	小 尾	○	坂 上	○	平 野	◎											メネット 伊左治 尾関 加藤(朱) 加藤(邦) 木本
メーキャップ	0名	切手	820pt	加藤明	◎	塩 田	◎	深 谷	◎											メ ン 加藤(明) 谷川 長井 深谷 渡辺	
出 席 率	78%	現金	0pt	加藤晃	◎	鈴 木	功	水 谷	○											メ ン 相馬、谷川、西村、平野、深谷、小尾	
メネット会	8名	累計	820pt	川 口	◎	相 馬	○	渡 辺	○											メネット 加藤(朱)、加藤(邦)、久保田、西村	
														◎第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ							

### ■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2009年12月5日（土）18：00～20：30  
ところ：ホテルアソシア  
名古屋ターミナルプラッセリーエスペランサ

クリスマス例会は例年のごとくまず礼拝ではじまった。緊張気味に司会を担当された五島メン、彼の祈りをはじめて聞いた気がする。なかなかどうして。メッセージは、深谷会長自ら、子どもの頃、家族そろって教会のミサに出席して、キャンドルサービスに感激した話とか、いたずら盛りだった体験などを交えつつ、神様の愛を分かちあうことに意味があるというような話を感動的に語ってくれた。深谷親子の情景が目の前に再現されるような話しっぷりには思わず引き込まれた。2年続けての会長によるメッセージであったが、なかなか良いものだなと関心した。

食事の後は、メソソプラノの奥野靖子さんによる歌。安物のキーボードであることをときに忘れさせてくれるような矢島尚美さんの名伴奏にのって、日本歌曲からクリスマスソング、カルメンなど、カンツォーネばりの声調で堪能させてくれた。真中に、早口ことば歌をはさみ、和やかさを演出される場所などはさすが。

最後は恒例のドアプライス。平野メンの進行は、安心して

楽しめる。

ゲストは、毎年参加してくれる加藤晃メンのお孫さんとその友人ら、チャリティーラン（I love 天中）チームのメンバーと元メネットの仁科恵美子さん。ところで、加藤マゴメットもずいぶん大きくなったものだなあ。来年のチャリティーランこそはトップをねらうと密かに話してくれた。あと、同じくチャリティーランに出走した名古屋学院スキーチームの三里健一部長も参加していただき、総勢41人の賑やかで和やかなクリスマス例会と今年もあいなった。

ちなみに、来年の予約を申し出たところ、ビルの建て替えの話があり、どうなるか不明なので6月以降の予約は受け付けていないとのこと。皆さん、どこか良い会場がありましたら会長に是非ご連絡を。（谷川 修）



.....

### ■■■ 第2例会レポート ■■■

と き：2009年12月15日（火）  
ところ：名古屋 YMCA

- 1) プリテン4月号（通巻758号）の件  
原稿依頼者は下記通り  
・名古屋クラブメン・メネット（200字以内）  
・過去名古屋クラブに在籍し、東西日本区の現役ワイズメンの方（300字以内）  
・紀の川クラブ・聖岩クラブ各1名
- 2) 愛実の会クリスマス会報告  
12月12日（土）に愛実の会クリスマス会が開催され、メン5名・メネット7名が参加。  
渡辺君、長井君の華麗且つ怪しげな芸を披露し、盛会な会であった。唯、会のクラブ参加者が少なくなっており、もっと多くのメンバーと他のクラブのメネットさんにも呼びかけ16年続いた事業を今後も継続して行きたいとの意見あり。詳細はメネット欄参照。  
また、来年のチャリティーランにも愛実の会のメンバーにランナーとして参加して貰い、名古屋クラブが登録費を支払う。
- 3) 12月第一例会会計報告  
41名の参加者があり盛大な会を開催できた。収支も若干の余りがありクラブファンドへまわす。今回のゲスト

への謝礼がクリスマス会の会計から支出されており、1万円をクラブ本会計から出し残りの分はクリスマス会の会計から出費する。また、会場となるエスペランサが来年ビル建替えの計画があるため新会場を検討する。

- 4) 1月第一例会プログラムの件  
名古屋グランパスクラブの坂倉洋さんを講師に迎え、抹茶をたてながら「茶の湯」をレクチャー。  
当日は茶菓子等の費用が掛かるため、参加者から500円を徴収。
- 5) 2月第一例会プログラムの件  
TOFの月でもあり、日本国際飢餓機構の方に卓話講師を依頼する。
- 6) 次期クラブ役員の内  
次期クラブ会長の候補者について、深谷会長から本人に打診する。
- 7) タワーズライツの内  
現時点で150名の申し込みがあり、例年並みとのこと。若干男性の参加者が少ないので今後も呼び掛けたい。今年から聖歌隊の参加費が1,000円になった。当日手伝いの出来るメンバーは、現地に17時集合。
- 8) ワイズポテトの内  
当クラブジャガイモ80箱、かぼちゃ16箱購入。残金28,480円をクラブファンドへ組み入れる。  
一つ、発注した薯の種類が違っていたため、今後確認したい。（平野実郎）

## 2009年 YMCA クリスマスキャロルタワーズライツ

第7回目を迎え恒例となったYMCAクリスマスキャロルはイルミネーションの光輝くJR名古屋駅タワーズガーデンで今年も一般公募含め160名のサンタ衣装の聖歌隊が集まった多くの人達と一緒にクリスマスキャロルを声高らかに歌い楽しいひとときを過ごしました。このイベントも益々YMCA PRで重要なプログラムの一つとなってきています。

当クラブからも聖歌隊、交通整理、場内整理警備など寒い中、ボランティアとして参加しました。(小尾雅彦)



### 今月の聖句

あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、99匹を野原に残して、見失った一匹を見つげ出すまで捜し回らないだろうか。

ルカによる福音書15:4

西村 清

人ひとり得るにすぎざる事をもて／

大願とせし／若きあやまち

啄木の代表的な一句です。「若き日のあやまち」と語るからには、語る者はわかくないはずです。しかしこの歌を作った啄木は、24、5歳くらいであったから、若い日を振り返るような年齢ではないはず。しかし彼はその固有の生き方の一つを、既にこのとき反省する段階に達していたと言えます。

その反省されている内容で、「人ひとり得る」ことをもって「大願」とする生き方です。しかもそれが「あやまち」であるという。さらに「人ひとり得るにすぎざる」とは何ごと

か、とお怒りになる方もおられるかもしれません。

一方、「人ひとり得ること」をもって文字通り「大願」とした人物がいます。イエス・キリストです。彼は言いたもう。失われたただ一人の人間を、「見つけるまで探し回らないだろうか」と。啄木は「人ひとり得るにすぎざる」であるが、イエス・キリストは「人ひとり得るに過ぎないことのために自分の生命をも捨てたもうた！」

ここに肉の「大願」と、霊の「大願」の違いがあるのではないかと思います。肉の大願は「人ひとり得ること」が自己自身の喜びのためであったのに対し、霊の大願は、自己を喜ばせるためではなく、イエス・キリストは相手を相手のために愛したもうた。

啄木が、この若さで、この肉と霊の違いに、「あやまち」のにおいを嗅ぎ取っていたのではないのだろうか、と思うのです。私たちも「人ひとり得る」ことを「大願」として励みたいと願います。霊のEMCとして。

新しい年も、神共にいます、すばらしい年となりますように祈ります。

### 『フィズメンの賢い話』(No167)

#### 『おが屑と丸太』

「イエスさまは“人を裁くな”と教えられたのだよ。「え！ 人を裁くななんていうことはなかなかできないよ」。「そうだね。だけど、他人に対して、厳しいことばかり言う人も結構いるじゃない。それも人を裁くことなのだよ。それで、イエスさまは、自分の目の中に丸太のような大きな悪があって、自分では気がつかないで、他人の目の中におが屑のような小さな悪を見つけて細かいことに文句を言う人を戒めているのだよ。まず、自分の

目の中にある丸太を取り除くことができれば、他人のおが屑も取り除くことができるのだよ」。「そうか。他人のおが屑のような小さな悪に気が付いてそれを取り除こうとする前に、まず、自分の丸太のような大きな悪を取り除かなければならないのだね」。「そうだよ。そうすれば、他人も自分を責めるようなことはしなくなるよ」。「そうだね。お互いに、他人のおが屑のような小さな悪を裁くようなことを控えれば、お互いに仲良くしていけるものね。それがイエスさまの“人を裁くな”という教えなのだね」。

(寺田仁計)



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 1月メネット例会ごあんない

と き 2010年1月16日(土) 10:00～  
と ころ 名鉄豊田線 黒笹駅 改札集合

1月は恒例の女正月です。黒笹駅にあるイタリアンレストランでお食事をします。皆さんご参加ください。

## メ ネット 例 会 レ ポ ー ト

と き : 2009年12月12日(土) 9:30～14:00  
と ころ : 「愛実の会」大地の家

今年も12月のメネット例会は愛実の皆さんとクリスマスのお祝いをしました。メネット8名、そして昨年に引き続きメン5名が参加し、愛実のメンバー・スタッフとあわせ30名のにぎやかな会となりました。

プログラムは、歌のお兄さん(おじさん?) 渡辺真悟さんのギターと歌、怪しげな奇術師長井潤さんのマジックで、歌ったり笑ったり多に盛り上がりました。食事のメニューは、いつものカレーライスとは趣を変え、煮込みハンバーグに初挑戦。ひき肉を一生懸命こねた手と汗の塩加減がうまく効いたのか、とても美味しく出来上がり大成功。フルーツやクリスマスケーキも色を添え、豪華なクリスマスランチに舌鼓を打ちました。そのあと島先生のお話があり、「メネットさんの食事奉仕は本当に助かっています。大変でしょうが、これからも続けていただくと嬉しいです。」とのお言葉に身の引き締まる思いがしました。最後に愛実のメンバー手作りのクリスマスカードとプレゼントをいただいて帰路につきました。皆様お疲れさまでした。

(加藤朱美)

## 2010年1月～ 担当者一覧

	巻頭言執筆	第一例会司会	ドライバースピーチ
1	深谷 聡	加藤 明宏	木本精之助
2	平野 実郎	川口 恵	久保田 啓
3	加藤 朱美	川本 龍資	小谷 治郎
4	久保田 啓		
5	渡辺 真悟	木本精之助	五島 八郎
6	深谷 聡	飯田 和也	坂上 洋平

(諸事情により変更もあります)

## ブリテン委員会からお知らせとお願い(再)

2010年4月発行のブリテンは通巻758号です。ただ単なる名古屋との語呂合わせに違いありませんが、この数字が示す758は、ずばり758ヶ月で約63年余の重みもあるのです。しかし、名古屋クラブの軌跡を辿るといような記念誌ではありません。あくまでもお祭りワッショイの758(ナゴヤ)号を記念して企画するものです。

クラブの皆様方、ブリテンを通しての原稿(50字～300字位)をお寄せ下さい。め切は2月15日(厳守)といたします。

### 原稿送り先

メール : yoshiro-h@nifty.com FAX : 052-354-6875  
郵 送 : 〒464-0873 名古屋市 中川区 上高畑 2-180  
たかはた荘 1-107 平野実郎宛

## 1月の讃美歌 411番

新年度最初の例会を新年の歌で始めたいと思います。有名なクリスマス曲「もろびとこぞりて」の作者によって作られたこの曲は、使徒行伝26章を題材にし、過ぎ去った年の神の助けに感謝しつつ、来る新しい年の神の守りを祈る格調高い讃美歌となっています。

(長井 潤)

## ハッピーバースデー

メ ン

1月 6日 木本精之助君  
7日 西村 清君  
15日 平野 実郎君

## メ ネット

1月 1日 鈴木 侯子さん  
2日 加藤 邦子さん  
6日 高森 敏子さん  
30日 久保田美代子さん

## 特別メネット

1月 30日 深谷 朗子さん

## Happy Wedding Anniversary

1月12日 長井 潤・衣世夫妻  
23日 黒川博英・勝子夫妻